

講義名称	思想	担当教員名	井上 新甫
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	思想	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM161

授業のキーワード	天心は人心、人心は天心
授業の概要	授業は礼に始まり礼に終わります。礼節を重んずるのは、学問は心身で会得してこそ役立つためです。日本の三大思想のうち、儒教は良心の学問・陽明学を中心に、神道は『古事記』を通じて日本人としての心を学びます。
期待される学習成果 (目標)	人間の根本とは何かを知り、人生に感激と勇気が醸成できます。家族や他人にどう応じ、また国家社会にどう処すべきかを知りましょう。能力の有無に関係なく自己の尊さを知ることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	日本の思想の流れ	神道は日本人の心の故郷、儒教は日本人の学問的故郷です。
2	儒教とは何か①	儒教は孔子に始まります。我が国では江戸時代260年余りの間、最も学ばれた学問です。
3	儒教とは何か②	徳を養うのは言葉を慎むにあります。言葉をどれだけ尊ぶかが、人格形成の要領です。
4	儒教とは何か③	儒教の根本原理は何か。女性に生命を生み出す大きな徳を持っていることを知ります。
5	陽明学とは何か①	陽明学は儒教の花です。現実にはいかにかに処するかの実践的学問で、これを事上磨錬といいます。
6	陽明学とは何か②	自己が依って立つ根本とは何か。これを知るか知らないかで、人生、天地の開きがでます。
7	陽明学とは何か③	だれもの心は、天が与えたものだから天心です。人心はずなわち天心。心は無限の天に通じます。
8	陽明学とは何か④	心の優れた働き知力のこと良知。良知こそ是非善悪・正邪を判別する最大尺度が陽明学の真髄。
9	陽明学とは何か⑤	日本陽明学の特徴と発展
10	神ながらの道①	日本固有の思想信仰が神ながらです。また神道ともいいます。神ながらは産霊の信仰です。
11	神ながらの道②	神ながらは多神教であり、また一神教でもあります。その聖典は『古事記』。
12	神ながらの道③	神ながらは日本人の生活習慣であり文化です。他の宗教とは違い、他を排斥しません。
13	神ながらの道④	神ながらは他宗教を排斥しません。寛容と同化力が特徴。
14	神ながらの道⑤	日本人と敷島の道。
15	まとめ	14回にわたる講義の要点と試験の概要について。

定期試験	主要な語句を覚えたか、語句を正しく解釈しているか、全講義を通じて感想文。持込可。
評価方法	定期試験 授業に臨む姿勢と出席状況は考慮します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	井上新甫著『王陽明と儒教』致知出版社
参考文献	井上新甫著『神ながらの道』と『四言教講義・通釈と開設』は希望者に販売しません。 儒教関係の書物は多数あるので、目についたものから読むといいでしょう。